

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭整備促進 Web フォーラム 開催報告



Web フォーラムの様子

令和2年9月14日開催

主催：四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会は9月14日（月）、四日市商工会議所にて「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭整備促進 Web フォーラム」を開催し、会場およびWEBで約90人が参加しました。

昨年5月の「四日市港の将来を考えるフォーラム」に続いて2回目の開催で、荷主や船社など関係者から、北埠頭へのコンテナ取扱機能の集約による混雑解消及び南海トラフ地震に備えた耐震強化など、四日市港の機能強化を求める意見発表をいただき、今年5月にとりまとめた決議文を読み上げ、参加者とともに霞ヶ浦地区北埠頭81号岸壁の整備促進に向けて、取り組んでいくことを共有しました。

1. 開会挨拶



四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 種橋会長
(四日市商工会議所会頭)

- 今年度、国土交通省、地元関係者の皆様のおかげで事業化検証調査費1億円が計上された。当会として、事業化に向けた取り組みを加速させ、一日も早い事業化に繋げていきたい。
- コロナ禍という困難な状況の中で、Webを活用した従来とは異なる形式ではあるが、皆様と一緒に四日市港の整備促進に向けた熱意を示したい。

2. 来賓挨拶



鈴木英敬 三重県知事

- コロナの影響で外資コンテナ貨物の取扱量が少し減少しているが、サプライチェーンの多元化や生産拠点の国内回帰により、必ず回復していくものと確信している。
- コンテナ船の大型化や、南海トラフ地震等大規模地震に対応していくため、港湾機能全体を強化していく必要がある。
- その切り札となるのが、新しい耐震強化岸壁の整備であるので、三重県としてもしっかり頑張っていきたい。



森智広 四日市市長

- 今年度から10年間の新総合計画が始まっており、その中で、四日市港は「産業と市民生活を支える港」として位置づけ、港とともに当市が発展していくよう頑張っていきたい。
- 港は混雑している状況であり、物流需要に 대응していくためにも、必ず北埠頭の整備をしっかりと形に残していきたい。



高田昌行 国土交通省港湾局長

- 国において1億円の調査費を計上し、今後の貨物量等の検証、事業費の算定、基本設計などを進めている。
- 四日市港は、我が国ものづくり産業を支える国際物流拠点として、重要な役割を担っていると認識している。
- 地元の熱い想いをしっかりと受け止め、国土交通省としても、四日市港の機能強化に最善を尽くしていきたい。

3. 関係者意見発表



本田技研工業株式会社
四輪事業本部SCM統括部サプライチェーン推進部
鈴鹿製品物流課 課長 安藤 昌利 氏

- ・霞ヶ浦地区へ輸送機能を集約し、弊社サプライチェーンの拠点として利用できるよう、南埠頭における完成車自動車を取扱うバースおよび保管用地を拡張して頂きたい。



中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー
四日市バイオマス発電所長 徳光 岳穂 氏

- ・霞ヶ浦地区は、電力というライフラインを担う重要な拠点。
- ・コンテナターミナルの機能強化は、四日市港全体の運用効率向上し、円滑な燃料供給に繋がるので、大変望ましい。
- ・大規模災害時に港湾機能を損なわないよう強化してほしい。



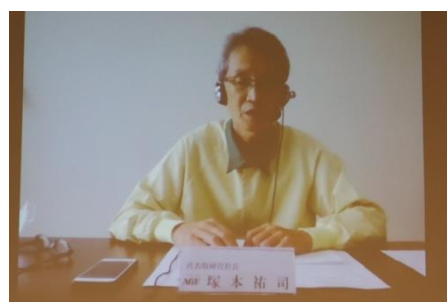
東ソー株式会社 上席執行役員 四日市事業所長
吉水 昭広 氏

- ・製造業の国際競争力の維持のために、港湾の機能強化、物流の効率化、船舶の大型化への対応は従来にもまして重要。
- ・混雑解消のため、北埠頭にコンテナ取扱機能を集約し、南ふ頭では、バルク貨物中心の機能強化を図っていただきたい。



コスモ石油株式会社
取締役執行役員 四日市製油所長 禰津 知徳 氏

- ・霞ヶ浦地区には、四日市霞発電所を有し、2017年12月からは石油コークスへの燃料転換をして操業している。
- ・南ふ頭は、石油コークスの受入れ拠点として重要な施設であるので、ふ頭の混雑解消、耐震強化をお願いしたい。



AGF 鈴鹿株式会社 代表取締役社長 塚本 祐司 氏

- ・年間3万トンのコーヒー豆を四日市港北ふ頭に荷揚げしており、道路整備も含めてモーダルシフトも進め、機能的な港だと認識している。
- ・官民一体となって整備促進し、安全、防災、環境への配慮に一層取り組んでいただきたい。



住友電装株式会社 常務執行役員 首藤 哲哉 氏

- ・ASEAN方面への出荷における物流コストの改善が課題であり、四日市港の利用は名古屋港の1割程度となっている。
- ・ASEANと四日市港の航路の充実強化、幹線道路の整備が進めば、四日市港をさらに活用していきたい。



名古屋四日市国際港湾株式会社
代表取締役会長 石垣 英一 氏

- 東海環状自動車道の開通に伴って四日市港の背後圏域が大きく広がり、潜在的な需要の開拓が大変重要になる。
- 世界的なコンテナ船の大型化に対応した耐震強化岸壁の早期整備をぜひともお願いしたい。



オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社
取締役専務執行役員 中井 拓志 氏

- 四日市港は名古屋港とともに、中部経済圏の重要拠点と位置付けている。
- 今後は、環境規制の強化や、大規模災害に備えた港湾施設の整備、輸入手続きのデジタル化を推進して頂きたい。

4. 応援メッセージ



川崎二郎 衆議院議員

- 今回のフォーラムが関係者の声、各企業の声を反映した地域の夢を見つける機会になることを期待したい。
- 鈴鹿・四日市・三重県力を合わせて、四日市港の整備に取り組み、地域の社会基盤として大きな力を発揮することを期待している。



吉川ゆうみ 参議院議員

- 四日市港は、大型船が着岸する岸壁が不足しているなど、抜本的な機能強化は“待ったなし”の状況。
- コロナ禍で大きく傷ついた地域経済を発展させる第一歩として、四日市港の国際コンテナ埠頭の新規事業化を実現させたい。



岡田克也 衆議院議員

- 世界的にコンテナ港の機能強化が進む中で、四日市港もしっかり投資していく時期にきている。
- コンテナ機能の集約や埠頭再編により、四日市港を機能強化していくための予算確保を、国会議員としてしっかりと力を合わせて対応していく。

5. 閉会挨拶



四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 小林副会長
(四日市港利用促進協議会 会長)

- 港は、コロナ禍あるいは大規模自然災害発生時にも、停滞させてはいけな重要な社会インフラである。
- 四日市港利用促進協議会としても、航路の維持拡大、貨物の集荷促進に一層の努力を重ね、進める会を後押ししたい。